

放射性ヨウ素による標識合成とイメージング ～コバルト-ブレオマイシンを用いた悪性腫瘍の集積評価～

2013/2/21 (木) 17:30～18:30

大阪大学医学部 講義棟2階 C講堂

金沢大学名誉教授
安東 醇 先生

- 1) 放射性ヨウ素標識コバルト-ブレオマイシンの合成と悪性腫瘍集積性
- 2) マクロオートラジオグラフィによるR-Iの組織内分布の観察

Co-57-ブレオマイシンの強い悪性腫瘍集積性が1971年に報告された後、臨床試験でもこの化合物の強い悪性腫瘍集積性が確認された。しかし、Co-57の物理的半減期が270日と長く、広く使用されるには至らなかった。そこで、我々は非放射性のCo-ブレオマイシンを作り、腫瘍集積性を損なわないように放射性ヨウ素で標識することを試みた。我々が合成したI-125標識コバルト-ブレオマイシンは放射化学的に非常に安定であり、坦癌マウスの実験で、十分な悪性腫瘍集積性を示した。今回の講演ではこの化合物の化学合成法、坦癌マウスの腫瘍組織および正常臓器組織への集積状況、坦癌マウスでの全身オートラジオグラムを中心にお話し、また様々な放射性同位元素を用いたマクロオートラジオグラフィによる組織内分布の観察法についても紹介します。

略歴

昭和37年3月	金沢大学薬学部 卒業
昭和37年4月	第一製薬株式会社入社、第一化学薬品株式会社総合アイソトープ研究室に研究員として出向
昭和42年4月	金沢大学医学部附属診療エックス線技師学校 専任講師
昭和47年5月	金沢大学医療技術短期大学部 助教授
昭和53年7月	金沢大学医療技術短期大学部 教授
平成7年10月	金沢大学医学部 教授（保健学科放射線技術科学専攻 医用放射線科学講座）
平成13年4月	金沢大学名誉教授
平成13年5月	岡山大学医学部客員研究員（放射線医学）～現在
平成14年2月	香川大学客員教授（放射線医学）～現在

主 催:PET分子イメージングセンター

連絡先:大阪大学医学系研究科核医学講座(06-6879-3461)

webmaster2@tracer.med.osaka-u.ac.jp

<http://www.tracer.med.osaka-u.ac.jp/index-jp.htm>